

大会第1日 〔 5月23日(日) 〕 10:00～11:30 一般口頭発表

A 会場

大気海洋相互作用

座長：立花 義裕（三重大生物資源）

- A101 今田 由紀子（東大気候システム） 太平洋における熱帯不安定波の大気応答が大規模場に与える影響
- A102 小川 史明（東大院理） 中緯度SST勾配が対流圏東西流と移動性擾乱の平均状態に与える影響
- A103 見延 庄士郎（北大院理） 湾流に対する大気応答の浅い加熱モードと深い加熱モード(II)
- A104 高玉 孝平（北大院理） 領域大気モデル中の境界層全層における湾流に対する大気応答のメカニズム
- A105 西川 はつみ（三重大生物資源） ラジオゾンデで観測された千島列島周辺の激しいSST勾配が駆動する大気循環
- A106 見延 庄士郎（北大院理） 北太平洋における2000年代の十年スケール変動

大会第1日 〔 5月23日(日) 〕 10:00～11:30 一般口頭発表

B 会場

気候システムI

座長：保坂 征宏（気象研）

- B101 伊賀 晋一 (JAMSTEC) NICAM 新コードを用いた全球水惑星実験
- B102 森 正人 (東大気候システム) 大気海洋結合モデルMIROCに見られるPDO ～中緯度固有モード～
- B103 庭野 匡思 (気象研) 積雪変態・アルベドプロセス (SMAP) モデル
- B104 青木 輝夫 (気象研) 積雪アルベド物理モデルによる積雪内部の短波放射吸収量の計算精度
- B105 保坂 征宏 (気象研) 陸面モデルHALへの積雪変態・アルベドプロセスモデルSMAPの導入
- B106 渡辺 真吾 (JAMSTEC) GCMにおけるLAI予報の有無が北半球冬季気候場に与える影響

大会第1日 〔 5月23日(日) 〕 10:00～11:30 一般口頭発表

C 会場

気象予報

座長：石橋 俊之(気象庁数値予報)

- C101 清水 慎吾 (防災科研) 2009年10月8日に茨城県で突風災害を起こしたレインバンドに関するデータ同化・予測実験 - 6台のX-bandレーダデータのインパクト -
- C102 川畑 拓矢 (気象研) GPSによる水蒸気情報同化手法の高度化
- C103 青梨 和正 (気象研) Displaced Ensembleを用いたMWI TBの変分法的同化法：台風200404への適用結果
- C104 石橋 俊之 (気象庁数値予報) 誤差共分散行列の最適化と観測データのインパクト評価について
- C105 原 昌弘 (気象研) ローパスフィルターを用いた全球SV法メソアンサンブル
- C106 松枝 未遠 (AESTO/気象研) TIGGEデータでみるヨーロッパ-大西洋領域の天候レジームの予測可能性

大会第1日 〔 5月23日(日) 〕 10:00～11:30 一般口頭発表

D 会場

観測手法

座長：東 邦昭（京大生存基盤科学研究ユニット）

D101 小野木 茂 (気象研) 汎用デジタルカメラを使用したPIV撮影装置(2報)

D102 小司 禎教 (気象研) 室戸沖GPS津波計を用いた天頂遅延量解析実験

D103 吉川 栄一 (阪大院工) 気象用Ku帯広帯域レーダネットワークにおける確率論的降雨減衰補正手法

D104 大東 雄二 (三菱電機特機システム) FMCW型Ka-bandレーダによるドップラー観測ほか

D105 東 邦昭 (京大生存基盤) ウインドプロファイラを用いた大気境界層の観測

大会第1日 〔 5月23日(日) 〕 13:30～17:00 専門分科会

B 会場

「気象・気候に対する山岳の影響」

趣旨説明： 上野 健一（筑波大院生命環境）

座長： 余 偉明（東北大院理）

B151 植田 宏昭（筑波大院生命環境） 筑波山の東西南北4斜面における通年観測から見えてきたもの

B152 中津留 高広（筑波大院生命環境） 過去100年間における筑波山山頂の気温と風の変化

B153 沢田 雅洋（東北大院理） 蔵王風下で観測された非定常な風に関する数値実験

B154 稲村 友彦（首都大都市環境） 局地風「まっぼり風」の吹走メカニズム ―阿蘇山の地形効果に着目して―

B155 木村 富士男（筑波大院生命環境） 晴天日の非断熱加熱による山岳風下における昇温効果

総合討論1

休憩

座長： 里村 雄彦（京大院理）

B156 植田 宏昭（筑波大院生命環境） モンスーンの形成と変動における山岳と陸面の役割

B157 杉本 志織（筑波大院生命環境） チベット高原東部のメソ対流系形成に対する陸面過程と中緯度波動活動の影響

B158 上野 健一（筑波大院生命環境） トラフ通過時の四川盆地周辺におけるMCSの発生過程

B159 村上 茂教（気象研） 氷期気候系における局所エネルギー収支とエネルギー流束

総合討論2

※各講演の持ち時間は質疑を含めて20分です.

大会第1日 [5月23日(日)] 13:30～17:00 専門分科会

C 会場

「様々な時間スケールでのデータ同化とアンサンブル予測」

趣旨説明 : 松枝 未遠(AESTO/気象研)

座長 : 松枝 未遠 (AESTO/気象研)

C151 山根 省三 (同志社大) 数値予報の様々な不確実性とアンサンブル手法

C152 斉藤 和雄 (気象研) メソアンサンブル予報と次世代スパコン戦略プログラム

座長 : 経田 正幸(気象庁数値予報)

C153 谷口 博 (JAMSTEC) 全球非静力学モデルによるサイクロン/台風発生の初期値アンサンブル実験

C154 中澤 哲夫 (気象研) TIGGE全球アンサンブルデータによる顕著現象発生ポテンシャル予測

休憩

座長 : 榎本 剛 (JAMSTEC)

C155 藤井 陽介 (気象研) 結合モデルと海洋観測データの統合(準結合同化)による気候変動の再現

C156 木本 昌秀 (東大気候システム) 十年規模気候変動予測

C157 望月 崇 (JAMSTEC) アンサンブルデータ同化手法を用いた近未来気候変動予測実験

座長 : 中澤 哲夫(気象研)

総合討論

※各講演の持ち時間は質疑を含めて25分です.

D 会場

熱帯大気

座長：大内 和良 (JAMSTEC)

- D151 山岬 正紀 (JAMSTEC) マデン・ジュリアン振動の理解に向けて一静力学モデル (0.2度格子) による数値実験
- D152 大内 和良 (JAMSTEC) 全球雲解像モデルNICAMにおける熱帯大規模雲集団の起源 1.コールドプールと海洋混合層の役割
- D153 土屋 主税 (東大院理) 全球非静力モデルデータの潜熱加熱のガウス基底関数による鉛直構造抽出
- D154 宮川 知己 (東大気候システム) 全球雲解像モデルNICAMによる2006年MJO事例再現実験におけるレインバンドに伴う運動量輸送効果
- D155 那須野 智江 (JAMSTEC) 全球非静力学モデルを用いた台風0806号 (Fengshen) 再現実験
- D156 吉崎 正憲 (JAMSTEC) 赤道域の海面水温が東西に変動する場合の水惑星実験
- D157 米山 邦夫 (JAMSTEC) インド洋における季節内変動に関する国際集中観測CINDY2011/DYNAMOについて
- D158 佐藤 尚毅 (東京学芸大自然) 暖水域を北進する季節内変動における大気海洋結合の役割

座長：千喜良 稔 (JAMSTEC)

- D159 増永 浩彦 (名大地球水循環) 東太平洋ITCZ の赤道非対称性：衛星観測に基づく再検討
- D160 廣田 渚郎 (東大気候システム) CMIP3マルチモデルにおけるダブルITCZ
- D161 千喜良 稔 (JAMSTEC) エントレインメント率が環境場に依存して鉛直変化する積雲対流スキーム
- D162 小石 和成 (京大生存研) 熱帯対流圏界面遷移層における水蒸気の変調と鉛直温度構造との関係
- D163 大塚 成徳 (京大院理) 熱帯対流圏中層に見られる湿潤層状構造の形成過程に関する数値実験
- D164 横山 千恵 (東大気候システム) 東部熱帯太平洋の浅い対流を伴う大気擾乱に関する研究
- D165 古澤 文江 (名大地球水循環) 1931-1939年のアマゾン産産業研究所気象観測データによる降雨特性の研究
- D166 康 アルム (京大防災研) インド亜大陸北東部における2007年と2008年の降水の比較

A 会場

降水システムI

座長： 瀬戸 心太（東大生産研）

- A201 渡邊 明（福島大理工） 降雪量変動と筋状降雪雲の構造
- A202 岡本 宏樹（名大地球水循環） 山陰から北陸沿岸に伸びる停滞性線状降雪帯の形成・維持メカニズム
- A203 永戸 久喜（気象研） 日本海寒帯気団収束帯に伴う直交型筋状雲の発生機構
- A204 加藤 輝之（気象研） 降雪予想に対する水平・鉛直解像度と乱流過程の依存性
- A205 中村 晃三（JAMSTEC） 湿潤断熱仮温度減率を使った静的安定度の頻度分布
- A206 川村 拓也（筑波大院生命環境） 冬季低気圧通過時に見られる冷氣層の成因の解明
- A207 中井 専人（防災科研） 長岡におけるZdrと卓越降雪粒子の変動
- A208 瀬戸 心太（東大生産研） GPM/DPR降水リトリーバル標準アルゴリズムの開発(1)
- A209 牛尾 知雄（阪大院工） 国際宇宙ステーションからの雷放電と高高度発光現象の観測(GLIMS)

B 会場

気候システムII

座長：増田 耕一 (JAMSTEC)

- B201 加藤 内藏進 (岡山大教育) 多降水日の出現状況や季節経過にも注目した20世紀の長崎における梅雨期の降水量の年々変動について (序報)
- B202 岩尾 航希 (熊本高専) 冬季日本周辺で起きる爆弾低気圧の長期変化
- B203 松尾 健一 (岡山大院教育) 日本付近における日々の総観場の出現傾向の冬から春への遷移 (序報)
- B204 永野 良紀 (日大文理) 日本の最高気温分布パターンとその要因－7月の例－
- B205 堤 之智 (青森地方気象台) 北日本での全天日射量と雲量の増加について
- B206 Prasamsa Singh (名大地球水循環) Diurnal variation of summer monsoon precipitation during active and break periods over the central India and southern Himalayan foothills
- B207 藤部 文昭 (気象研) 都市気温の長期変化率の風速・降水への依存性
- B208 谷貝 勇 (気象大) 地球温暖化が影響する日本の冷夏と暑夏について (その2) —これまでに分かっていたこと—
- B209 村上 英世 (東和大) 太陽光遮光装置による地球温暖化防止の基本特性

C 会場

台風

座長：村田 昭彦（気象研）

- C201 横井 覚（東大気候システム） 西太平洋における台風存在頻度の長期変化とその要因
- C202 村田 昭彦（気象研） 高解像度非静力学モデルによる台風0814号の発生過程の解析
- C203 筆保 弘徳（IPRC） 台風外部コア発達プロセス
- C204 益子 渉（気象研） 気象庁NHMを用いた台風の数値シミュレーション
- C205 金田 幸恵（AESTO） 水平解像度5km/2kmの非静力学モデルJMANHMを用いた非常に強いTCの発達に関する感度実験～特に境界層スキームに着目して
- C206 宮本 佳明（京大院理） 発達した熱帯低気圧の海面フラックス有効半径
- C207 和田 章義（気象研） 台風Hai-Tang(2005)の強度予測に対する波浪-海洋相互作用の役割
- C208 山下 浩史（気象庁数値予報） 2008年台風第13号および熱帯低気圧のMTSAT-2ラピッドスキャンAMVを使用した気象庁現業解析予報システムによるインパクト実験
- C209 佐竹 祐哉（北大院理） 隣接閉領域トラッキングによる台風トラック

D 会場

物質循環I

座長：石塚 正秀（香川大工）

- D201 五藤 大輔（東大気候システム） 全球エアロゾルモデルとAERONET観測網を用いたエアロゾル光学特性の比較研究
- D202 竹村 俊彦（九大応力研） 全球エアロゾルモデル相互比較プロジェクトAeroCom第2期実験準拠シミュレーション
- D203 川名 華織（名大院環境学） 2009年秋季に名古屋で観測されたエアロゾルのCCN活性
- D204 伊藤 彰記（JAMSTEC） 長距離輸送時における黄砂粒子中鉄イオン溶出過程に関するエアロゾル化学モデル解析
- D205 三上 正男（気象研） JADE IOP期間中の休耕農地における飛砂フラックスデータの作成
- D206 石塚 正秀（香川大工） JADE IOP期間中のOPCを用いた休耕農地におけるダストフラックスの観測
- D207 長田 和雄（名大院環境） 非水溶性粒子沈着量の水平分布と季節変化
- D208 神 慶孝（名大院環境） CALIPSOと地上設置ライダーで観測されたタクラマカン砂漠のダスト構造に関する研究
- D209 常松 展充（千葉大CEReS） 大気の温度傾度の将来変化が黄砂現象に及ぼす影響のシミュレーション

大会第3日 〔 5月25日(火) 〕 9:30～11:30 一般口頭発表

A 会場

降水システムII

座長：岩崎 博之（群馬大教育）

- A301 岩崎 博之（群馬大教育） AMeDAS データを用いた近年の強雨増加の地理的特徴
- A302 鵜沼 昂（高知大理） 気象庁降雨レーダーを用いた四国における線状降水帯の統計的研究
- A303 津口 裕茂（気象研） 集中豪雨事例の客観的な抽出方法について
- A304 高根 雄也（筑波大院生命環境） 関東平野内陸域における夏季高温現象の数値実験
- A305 石原 正仁（気象研） 3次元レーダーデータから見たある日の積乱雲群の統計的局面
- A306 枘本 英伍（九大院理） 梅雨前線帯の低気圧の発達過程と環境場（2）
- A307 木下 仁（福岡管区气象台） 2010年2月1日九州南部・奄美地方で発生した副振動について
- A308 山田 芳則（気象研） 激しい気象現象をもたらした積乱雲の内部構造の特徴
- A309 檜尾 守昭（気象大） 条件付き不安定な飽和傾圧大気におけるメソ対流の概略的性質の演繹的推測

B 会場

気候システムIII

座長：小坂 優（ハワイ大IPRC）

- B301 山浦 剛 (熊大院自然) 梅雨前線西部域の経年変動におよぼす台風の影響
- B302 小坂 優 (ハワイ大IPRC) 梅雨前線上の降水変動と大規模循環変動
- B303 小坂 優 (ハワイ大IPRC) 夏季アジアジェット上の波状テレコネクションパターンの力学
- B304 田村 徹 (東大院工) チベット高原付近上層昇温と夏季アジアモンスーン季節進行における対流加熱の役割
- B305 山崎 哲 (九大院理) 渦と渦の相互作用によるブロッキング持続メカニズム
- B306 堀 正岳 (JAMSTEC) 2009-2010 年冬季に発生した寒波事例の解析
- B307 田中 博 (筑波大CCS) 記録的な2009/10年の寒波と北極振動の関係について
- B308 北畑 明華 (筑波大院生命環境) 二つ玉低気圧(2004年1月18日の事例)の形成に対する日本列島の影響
- B309 力石 國男 (弘前大理工) ヒートアイランド・温暖化の原因となる夜間～早朝の熱煙滞留

C 会場

雲放射

座長： 関口 美保（東京海洋大海洋工）

- C301 佐藤 悠（弘前大院理） ISCCP D1データを用いた赤道域の雲の分類と分布の解析
- C302 中島 孝（東海大TRIC） 衛星搭載イメージャと雲レーダの複合的利用で示される雲の成長過程について
- C303 岡本 創（東北大院理） CALIOPの赤外チャンネルの校正と氷粒子による後方散乱の波長の比
- C304 平形 麻紀（東北大院理） ライダ搭載観測衛星CALIPSOによる雲粒子タイプ識別と相対湿度の関係
- C305 萩原 雄一郎（東北大院理） CloudSatとCALIPSOから求めた雲頂高度の違いについて（その2）
- C306 関口 美保（海洋大） ブロードバンド放射スキームにおける散乱過程の比較・検証

D 会場

物質循環II

座長：梶野 瑞王（東大先端研）

- D301 須藤 健悟（名大院環境） 全球メタン濃度の過去再現シミュレーション：気候変動の影響
- D302 中島 英彰（環境研） JARE48によるPSCの特性評価とオゾン破壊量との関係
- D303 永井 智広（気象研） ライダーで観測された成層圏のバックグラウンドエアロゾルの増加
- D304 兼保 直樹（産総研） 小笠原父島における黒色炭素粒子濃度の年々変動
- D305 上田 紗也子（名大院環境） 辺戸岬で観測されたススを含む粒子の形態
- D306 大島 長（東大先端研） 東シナ海・黄海上の自由対流圏中で観測されたブラックカーボンの上方輸送過程
- D307 松井 仁志（東大先端研） ARCTAS航空機観測を用いた北極圏のブラックカーボンの発生源と輸送・除去過程の研究
- D308 鶴田 治雄（東大気候システム） ピマイ(タイ)の大気エアロゾルの化学組成と光学特性(第3報) — 乾期における化石燃料燃焼、土壌、及びバイオマス燃焼起源による影響—
- D309 梶野 瑞王（東大先端研） 東アジアにおけるエアロゾル化学組成、粒径分布、混合状態の成長過程のモデル解析

A 会場

降水システムIII

座長：下瀬 健一（アルファ電子/気象研）

- A401 中里 真久 (気象研) 統計力学に基づく竜巻強度分布の推定
- A402 山内 洋 (気象研) 2009年10月8日に土浦市で発生した竜巻の親雲の特徴
- A403 小林 文明 (防大地球) 庄内平野における降雪雲に伴うガスト発生時の気象要素の変化
- A404 伊藤 宏記 (京大院理) 冬季日本海上で発生したマイソサイクロンの形成過程および発達・維持機構
- A405 楠 研一 (気象研) 小型ドップラー気象レーダーを用いた突風探知システムの開発へ向けてー探知手法開発における問題点と今後の取り組みー
- A406 楠 研一 (気象研) 庄内平野に直進性の突風をもたらした気象じょう乱
- A407 下瀬 健一 (気象研) 2008年12月11日庄内平野に突風をもたらした気象じょう乱ー高解像度シミュレーションー
- A408 新井 健一郎 (JR東日本) 小型ドップラー気象レーダーを用いた突風探知システムのプロトタイプの開発ー複数の渦が同時に存在する事例のテストー
- A409 西橋 政秀 (気象研) 庄内突風観測プロジェクトによる冬季雷観測ー初期観測結果ー

B 会場

気候システムIV

座長：高藪 出（気象研）

- B401 高藪 出（気象研） 「温暖化影響評価のためのマルチモデルアンサンブルとダウンスケーリングの研究」 第1期研究の紹介
- B402 足立 幸穂（筑波大生命環境） 2070年代における首都圏夏季の将来都市気候予測
- B403 日下 博幸（筑波大計算科学） 三大都市圏を対象とした夏季気候の再現計算と将来予測
- B404 石崎 紀子（気象研） 日本域における領域気候モデルの再現性の相互比較
- B405 楠 昌司（気象研） 地球温暖化による梅雨期の降水強度変化の不確実性
- B406 村上 裕之（AESTO） 20km 格子全球大気モデルで予測された地球温暖化時の北西太平洋における熱帯低気圧のトラック変化
- B407 金田 幸恵（AESTO） 革新プログラム・チーム3「極端現象」：領域温暖化予測実験水平解像度5km/2km非静力学モデルの降水特性
- B408 尾瀬 智昭（気象研） 夏季におけるENSO-降水量相関とCMIP3モデルの温暖化予測
- B409 若月 泰孝（JAMSTEC） 擬似温暖化実験手法の改良

C 会場

大気境界層I

座長： 稲垣 厚至（東工大院理工）

- C401 稲垣 厚至（東工大） 屋外都市模型のキャノピー層における温度変動の空間分布
- C402 菅原 広史（防大地球） 2 高度シンチロメータによる都市域のゼロ面変位推定
- C403 高橋 一之（都環科研／首都大都市環境） 夏季における東京都区部の風系とヒートアイランド現象との関係（第4報）— 静力学平衡を仮定して補正した夜間の気圧分布と風系との関係—
- C404 小松 美智（筑波大院生命環境） つくば市における夏季の気温分布の特徴—2009年8月の観測結果—
- C405 重田 祥範（岡大院自然） 街区構造の違いが及ぼす大気熱環境 — 気温の空間的分散と季節特性—
- C406 菅原 広史（防大地球） 都市内緑地における冷気にじみ出しの熱収支解析
- C407 増田 仙一（京大人環） 異なる地表環境における鉛直方向への多点気象観測
- C408 岩井 宏徳（NICT） 差分吸収／ドップラーライダーによる境界層中の鉛直流統計量の推定

D 会場

大気力学

座長：三村 和男（東海大教養）

- D401 増子 友紀（東海大理） 閉ループ内熱対流実験 ～回転対称カオスを左右する初期値～
- D402 三村 和男（東海大教養） 無限自由度を持つ現実流体中の小自由度カオス～スペクトル法による考察～
- D403 横田 祥（東大理） 自由表面を持つ回転流体に生ずる多角形パターン
- D404 檜尾 守昭（気象大） 気象擾乱の自律性および多様性の由来に対する一つの解釈
- D405 納多 哲史（神戸大院理） 同期回転惑星の大気大循環とその自転角速度依存性
- D406 板野 稔久（防衛大地球海洋） 惑星渦度の水平成分を考慮した対称不安定における上下の境界条件の影響
- D407 原田 昌（京大院理） f平面二層浅水系におけるジェットからの重力波放射について—パラメータスイープ実験—
- D408 坂崎 貴俊（北大院環境） WINDASで明らかになった日本上空下部対流圏の風の日変動

大会第4日 〔 5月26日(水) 〕 13:30～15:00 一般口頭発表

A 会場

降水システムIV

座長：平沢 尚彦（極地研）

A451 村上 正隆（気象研） 暖候期四国上空における雲・エアロゾル特性（その3）

A452 田尻 拓也（気象研） MRI雲生成チェンバーによる雲物理実験 ダスト粒子～雲粒・氷晶発生過程（その2）

A453 山下 克也（気象研） 人工降雨シーディング用吸湿性粒子の雲凝結核特性（その4）

A454 久芳 奈遠美（JAMSTEC） 暖かい雨に対する凝結核散布の効果に関する数値実験（3）—ハイブリッド雲微物理モデルによる人工降雨事前評価の試み—

A455 平沢 尚彦（極地研） 降雪粒子カウンターとシーロメータによる降雪量観測

B 会場

気候システムV

座長：野原 大輔（電中研）

- B451 萱場 互起 (気象庁気候情報) 国土数値情報から推定した最近30年の土地利用の変化とそれによる気温への影響
- B452 Das Lalu (JAMSTEC) Cenntennial scale warming over Japan: an assessment of urban influences
- B453 野原 大輔 (電中研) 季節予報におけるマルチモデルアンサンブルと気候地域性の考察
- B454 横畠 徳太 (JAMSTEC) 気候モデルアンサンブルの評価
- B455 二宮 洸三 (JAMSTEC) 梅雨期日降水量強雨の再現性についての20CCCMモデル相互比較
- B456 栗田 直幸 (JAMSTEC) 水同位体トレーサーを用いた気候モデルの再現性評価

C 会場

大気境界層II

座長：北村 祐二（気象研）

C451 北村 祐二（気象研） 安定成層下でのMYNNモデルの修正について

C452 池田 亮作（筑波大院生命環境） 複雑地形・都市を対象とした並列LESモデルの開発

C453 中山 浩成（原子力機構） 各種形状を有する建物配列群での空力的粗度特性に関するLESと実在都市への適用

C454 竹見 哲也（京大防災研） 気象モデルとLESモデルの結合による都市域強風変動の融合解析：突風の予測に向けて

C455 山口 春季（東大海洋研） 寒気の吹き出し時の湿潤対流混合層内に発生する鉛直渦

C456 伊藤 純至（東大海洋研） 対流混合層内に生成される鉛直渦度のスケーリングII

大会第4日 〔 5月26日(水) 〕 13:30～15:00 一般口頭発表

D 会場

中層大気

座長：直江 寛明（気象研）

D451 清水 健作（北大院地球環境） 温度基準ゾンデの開発と成層圏における気温計測誤差の評価

D452 富川 喜弘（極地研） 南半球極渦内外の対流圏界面逆転層

D453 吉田 康平（北大院環境） 2009年1月の成層圏突然昇温期における熱帯対流圏界層の気温変動要因

D454 直江 寛明（気象研） 熱帯QBOが冬季中高緯度循環に与える影響

D455 Chen Ying-Wen (九大院理) Behaviors of Kelvin Waves in the MLT region Simulated by the Kyushu University GCM

大会第1日 [5月23日(日)] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P101 金久 博忠 (気象大) β プルーフとRossby波列の解析解
- P102 小田 真祐子 (富山地方気象台) 非断熱Rossby波の解析解
- P103 山下 達也 (北大院理) 主成分凝結を伴う火星大気対流の二次元数値実験
- P104 高橋 宙 (気象研) 複数山岳におけるエアロゾル同期観測
- P105 早崎 将光 (千葉大CEReS) 山岳を迂回する黄砂輸送をもたらす気象条件
- P106 辻 美幸 (防大地球海洋) 津軽暖水のモード変化でみる三陸沖の海洋構造
- P107 山本 勝 (九大応力研) 日本海上を通過する低気圧がSSTに与える影響
- P108 村山 昌平 (産総研) 父島における大気中ラドン濃度の観測 (速報)
- P109 丹羽 洋介 (東大気候システム) 全球アジョイント・トレーサ輸送モデルの開発とそれを用いたラドンプリュームの逆追跡
- P110 弓本 桂也 (九大応力研) 全球エアロゾル輸送モデルへの四次元変分同化手法の導入
- P111 岩本 勉之 (北大低温研) AMSR-E 89 GHz を用いた北極海の高分解能薄氷厚分布の見積り
- P112 佐伯 浩介 (東北大院環境) FTIRを用いた2007年南極昭和基地における成層圏大気微量成分の観測
- P113 森本 真司 (極地研) 南極・昭和基地における大気中酸素濃度の連続観測
- P114 丸山 文男 (名大院環境) ENSOとIODの時系列に対するウェーブレットを基礎にしたマルチフラクタル解析
- P115 湯田 有希 (弘前大理工) 1990年代以降顕著になったインド洋ダイポールモードの3~4年周期振動
- P116 Muhammad Rezza(名大院環境) High Frequency Equatorial Waves within MJO envelope
- P117 村崎 万代 (気象研) 高解像度海洋モデルSSTによる日本域の気候シミュレーション
- P118 近藤 沙綾子 (奈良女子大) 東アジア付近の対流圏カラムオゾン高濃度帯の成因と季節変化に関する研究
- P119 和田 晃 (気象大) 南鳥島で観測されたCO/Rn比を用いたアジアの一酸化炭素排出量の推定
- P120 山崎 孝治 (北大院地球環境) チベット高原における融雪時期の変動が東アジアの6月の大気場に及ぼす影響
- P121 原 政之 (JAMSTEC) 気候変動による東京都市圏冬季ヒートアイランド強度に対する影響
- P122 田上 善夫 (富山大人間発達科学) 2004年における広域の不時昇温とフェーンの影響
- P123 釜堀 弘隆 (気象研) 再解析プロダクトにおける降水量の品質
- P124 濱田 篤 (地球研) 雨量計観測に基いた長期高解像度日降水量グリッドデータセットAPHRODITEの作成
- P125 根本 由紀子 (気象予報士会) 東京における冬季の気温と降水特性の関係
- P126 安中 さやか (東大気候システム) 歴史的海面水温データセットの相互比較
- P127 金丸 佳矢 (名大院環境) 熱帯・亜熱帯海洋上の係留ブイおよび衛星観測を用いた水蒸気調節メカニズムについて
- P128 服部 美紀 (JAMSTEC) 海大陸域における赤道越え北風サージと降水量の季節内変動
- P129 鈴木 恒明 (JAMSTEC) 中央アフリカにおける熱帯収束帯の季節変化特性
- P130 仲江川 敏之 (気象研) 過去千年に亘る継続的な数十年周期のグリーンランド気温変動
- P131 大島 和裕 (北大地球環境) 北太平洋の海面水温場に見られる10年規模変動と温暖化トレンドの空間パターンーCMIP3マルチ気候モデルによる実験結果を用いた解析ー
- P132 秋本 祐子 (筑波大院生命環境) 日本の霧・濃霧の出現特性
- P133 石川 真奈美 (筑波大自然科学類) 会津盆地で発生する霧の予測手法の開発

大会第2日 [5月24日(月)] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P201 黒木 祐樹 (防衛大地球海洋) LESによるKelvin-Helmholtz波の解析
- P202 和田 章義 (気象研) 東太平洋と北西太平洋における熱帯低気圧強度と表層海洋貯熱量の関係の違いについて
- P203 坂口 晃一 (アリゾナ大) An Evaluation of NCAR CLM3.5 with Three Biogeochemical Models Under Control and Drought Scenarios in an East-Central Amazon Forest
- P204 小田 知宏 (環境研) 全球発電所データベースと夜間光データを用いた化石燃料起源CO₂排出量の全球超高解像度マッピング
- P205 眞木 貴史 (気象研) アンサンブルカルマンフィルタを用いた炭素循環解析システムの構築
- P206 財前 祐二 (気象研) 不揮発性エアロゾルの内部混合比率と揮発性シェルの厚さについて一つくばでの夏と冬の違い
- P207 桐山 悠祐 (東京理大理) 近年の夏季首都圏内陸部における高濃度オゾンの気象的生成要因について
- P208 高村 近子 (東北大院理) 冷温帯落葉広葉樹林における大気中二酸化炭素の酸素同位体比の季節変動
- P209 薛 光明 (岐阜大学院) 非静力学メソ気象モデルによる高山常緑針葉樹林サイト周辺の地表面フラックス解析
- P210 五十嵐 康人 (気象研) モンゴル表土中の人工放射性核種と降水量との関係から推定した黄砂発生地帯の変動
- P211 黒崎 泰典 (鳥大乾地研) マンダラゴビにおける風送ダストの発生要因
- P212 萩野谷 成徳 (気象研) チベット高原ナム湖における熱・水循環過程の研究(2)
- P213 北 和之 (茨城大理) 太陽散乱光の可視・紫外同時分光観測による下部対流圏オゾン量の推定
- P214 直江 寛明 (気象研) 海塩粒子が酸性化に要する時間とライフタイムとの関係
- P215 立花 義裕 (三重大生物資源) 夏のNAMの発達とブロッキング高気圧との関連
- P216 佐藤 可織 (九大応力研) 衛星搭載雲レーダ/ライダー複合利用による雲プロダクト用アルゴリズムの開発 II
- P217 石原 幸司 (気象研) 学校における地球温暖化学習についての提案
- P218 小松 麻美 (気象協会) 気象教育教材の開発と実践 その3 ~動物園の科学イベントにおける南極の立体天気図実践について~
- P219 楠 祐樹 (富山大院理工) 台風起源の定在ロスビー波束の伝播と梅雨前線への影響
- P220 萩野 慎也 (JAMSTEC) GAME-Tレーウィンゾンデ集中観測データからみたインドシナ半島内陸部における乾季の気温逆転層
- P221 高橋 宏児 (高知大院理) バングラデシュのプレモンスーン期・モンスーン期における降水の特徴
- P222 出牛 真 (気象研) 21世紀予測実験に基づいた成層圏における子午面循環の長期変動解析 (第二報)
- P223 釜江 陽一 (筑波大院生命環境) 鮮新世中期における熱帯大気循環の弱化
- P224 阿部 学 (環境研) マルチモデルの将来気候変化場と現在気候場の関連モードを用いた将来気温変化場の推定
- P225 長谷川 聡 (環境研) MIROC4 T213大気海洋結合モデルspinup実験の熱帯低気圧活動
- P226 重里 昌 (東京海上研究所) 低解像度平均場データから推定した温暖化後の台風強度
- P227 田中 実 (気象研) 20世紀における日本の夏の気温と南シナ海モンスーン・太平洋高気圧・オホーツク海高気圧の十年スケールの関係
- P228 永野 良紀 (日大文理) チベット高気圧の張り出しパターンに関する客観解析
- P229 石崎 安洋 (気象研) 3つのベイズ的アプローチによる21世紀後半の日本の地表気温上昇量の比較
- P230 宮 由可子 (筑波大院生命環境) 日本の三大都市における過去20年間の猛暑の実態調査
- P231 高根 雄也 (筑波大院生命環境) 関東平野内陸域における夏季高温現象の統計解析
- P232 田中 博春 (東北農研) 地球温暖化気候シナリオを組み込んだ気候緩和機能評価モデル
- P233 渡辺 貴典 (首都大都市環境) 屋上緑化による気温緩和効果に関する研究ー高空間解像度の数値シミュレーションを用いた東京23区の事例ー

大会第3日 [5月25日(火)] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P301 吉田 聡 (JAMSTEC) アンサンブル再解析データを用いた爆弾低気圧の予測精度検証
- P302 山下 吉隆 (富山大院理工) 爆弾低気圧の集中化と北陸地方の大雪の発生について
- P303 北畠 尚子 (気象研) JRA-25 における温帯低気圧化台風に対するボーガスの影響
- P304 奥 勇一郎 (京大防災研) 台風による影響評価を目的とした可能最大風速・降水量の推定
- P305 吉野 純 (岐阜大院工) 台風災害ポテンシャル評価に及ぼす水平解像度の影響
- P306 瀬古 弘 (気象研) 非静力学モデルによる熱帯域の積雲対流の発生過程
- P307 佐藤 正樹 (東大気候システム) 台風0918 Melorシミュレーション:SST感度依存性
- P308 仲江川 敏之 (気象研) 気象庁気象研究所 大気-海洋結合モデル予報実験における台風発生位置の予測可能性
- P309 西田 智哉 (東大院新領域) K-Tritonブイ気象場解析
- P310 瀬戸 心太 (東大生産研) 二周波降水レーダアルゴリズムに用いる繰り返し後退法の改良
- P311 川村 誠治 (NICT) 改良型バイスタティック降雨レーダシステム—シミュレーション検討—
- P312 杉谷 茂夫 (NICT) 改良型バイスタティック降雨レーダシステム —受信機開発と実証実験—
- P313 脇阪 洋平 (京大生存研) GNU Radioを用いたウィンドプロファイラー用デジタル受信機の開発
- P314 関澤 信也 (NICT) 低高度における強力エコー受信のためのSpano符号の振幅制御法の提案
- P315 関 隆則 (気象予報士会) 台風0909の10分降水量度数分布の特徴
- P316 吉田 翔 (筑波大院生命環境) メソγスケール対流系の寿命・降雨強度と下層風の風の収束の関係—2008年8月の関東地方を対象に—
- P317 石丸 友紀乃 (筑波大院生命環境) 局地前線に伴うバックビルディング型豪雨
- P318 出世 ゆかり (名大地球水循環) 台風0918号の中心付近で局所的な落雷をもたらした降水雲の特性
- P319 鈴木 賢士 (山口大) 梅雨期沖縄でのビデオゾンデ観測でみられた霰の形状について
- P320 伊関 一悟 (山口大農) 新潟・柏崎における2009年度冬季ビデオゾンデ観測の概要
- P321 小池 克征 (いであ) JMANHM_1kmデータを用いたダム流域における降雪気象因子の特定に関する研究
- P322 橋本 明弘 (気象研) 山岳性降雪雲に関する雲解像モデルの予想特性
- P323 大竹 秀明 (気象研) 山岳性降雪雲内における航空機観測と雲解像モデルとのvalidation
- P324 折笠 成宏 (気象研) ドライアイスシーディングに伴う山岳性降雪雲の微物理構造の変化 (その3)
- P325 豊田 友英 (筑波大院生命環境) 冬季降雪雲に対する数値モデルを用いた最適シーディング法についての研究
- P326 道本 光一郎 (防衛大) 気象レーダー利用による雷放電予測法の開発 (第2報)
- P327 古橋 奈々 (筑波大学自然学類) 真夏日の午後に東京23区で観測された短時間強雨の実態調査
- P328 縄田 恵子 (筑波大院生命環境) WRFを用いた首都圏の降水シミュレーション—都市の降水へのインパクト調査—
- P329 稲村 友彦 (首都大都市環境) 東京における強雨発生に与える都市の影響に関する研究 —アンサンブル実験を用いて—
- P330 栗田 進 (気象研) 新しい都市境界層の考え方—都市スケールと街区スケールを結びつけるもの—
- P331 小田 僚子 (NICT) 東京都小金井市上空の境界層高度日変化の推定
- P332 田中 真也 (防衛大地球海洋) 分散法を用いた銀座街区周辺におけるゼロ面変位の推定
- P333 小笠原 拓也 (気象協会) ヒートアイランド現象の観点から見た館林市街地の温熱環境

大会第4日 〔 5月26日(水) 〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P401 北畑 明華 (筑波大院生命環境) 二つ玉低気圧の気候学的調査
- P402 猪上 淳 (RIGC) 北極海上のブロッキング高気圧沿いに発生したポーラーローの観測
- P403 瓜田 真司 (首都大都市環境) 土壌雨量指数を用いた土砂災害発生危険性の空間分布に関する研究
- P404 三隅 良平 (防災科研) レーダ雨量を用いた土砂災害危険域評価ー都市域を中心にー
- P405 中村 誠臣 (気象研) 2008年8月9日に甲信地域で発生した不安定降水のNHMによる再現実験
- P406 瀬古 弘 (気象研) アンサンブルと同化手法を用いた局地豪雨再現実験
- P407 伊賀 晋一 (JAMSTEC) 熱帯または局所領域で細かいストレッチ型全球三角格子
- P408 藤吉 康志 (北大低温研) 長崎市池島における風と波と鳥の観測(WINPOD-L) (その1)ー観測概要と途中経過ー
- P409 鈴木 修 (気象研) IQデータを使った高解像化メソサイクロン検出アルゴリズム
- P410 徳野 正己 (気象研) 衛星3.8 μ m帯チャンネルによる積乱雲の特徴
- P411 西脇 夏樹 (筑波大院生命環境) ステレオ写真測量及びKa バンドレーダによる積乱雲の発生・発達過程の観測
- P412 佐藤 晋介 (NICT) 低騒音型RASS用アレイスピーカーシステムの開発
- P413 青梨 和正 (気象研) 非球形固体降水粒子のマイクロ波特性の導入によるGSMP前方計算法の改良
- P414 古澤 文江 (名大地球水循環) 地表面射出率の降水推定への応用と地表面温度導出について
- P415 田中 博春 (東北農研) フィールドモニタリングカメラシステムを利用した積雪深の観測
- P416 朽木 勝幸 (気象研) 衛星と地上放射計それぞれから抽出された積雪物理量の比較
- P417 藤山 隆 (防衛大地球海洋) 降雨に伴う土壌水分量の変化とマイクロ波温度の関係
- P418 田上 雅浩 (熊本大院自然) 熊本における降水同位体比の時系列解析
- P419 佐野 哲也 (山梨大院医学工学総合研究) X-バンド二重偏波ドップラーレーダーで観測された夏季に短時間の豪雨をもたらせた降水システムの構造
- P420 鈴木 真一 (防災科研) Xバンドマルチパラメータレーダ観測による雹の偏波パラメータ特性
- P421 高橋 暢宏 (NICT) TRMM/PRの地表面エコーを用いた降雨の非一様性の評価
- P422 中井 専人 (防災科研・雪氷) 高分解能降雪強度観測によるZe変動の評価
- P423 中里 真久 (気象研) Xバンド及びKaバンドレーダーによる雲微物理量導出法の比較
- P424 川合 秀明 (気象庁数値予報) 海洋性境界層雲と大気場の関係
- P425 井口 享道 (メリーランド大ESSIC) WRF-SBMによるlake-effect snowstorm再現実験
- P426 斎藤 篤思 (気象研) 航空機搭載用氷晶核測定装置による観測
- P427 中村 佳敬 (阪大院工) 非静力学モデルを用いた雷雲内電荷分布の推定
- P428 村松 貴有 (富山大理) 日本におけるダウンバースト発生の環境場と予測可能性
- P429 高谷 美正 (気象研) 2007年4月28日東京湾岸地帯で発生した突風 Bow Echo の解析的研究
- P430 佐々 浩司 (高知大理) 土佐湾で発生したマイソサイクロンのレーダー観測
- P431 佐々 浩司 (高知大理) 庄内平野における突風の統計特性
- P432 河合 克仁 (防衛大地球海洋) 庄内平野における降雪雲に伴うガストの事例解析
- P433 片境 泰聡 (首都大 都市環境) 風の鉛直シアによる臨界層がまづり風吹走に与える影響に関する数値実験